



「鉄道・バス乗り継ぎエコキャンペーン」の植樹活動

# Environment

KEIHAN  
Corporate Social  
Responsibility  
Report 2012

## 環境への取り組み

地球温暖化などの環境問題は、近年ますます重要な課題となっています。当社では平成14年12月に京阪グループ環境理念を制定し、環境経営を推進しています。平成19年からは環境方針の重点実施項目に「公共交通利用促進」を加え、環境負荷の低い鉄道の利用を継続して社会に発信しています。

### 環境管理責任者ごあいさつ

京阪グループでは、環境問題を重要な課題の一つと考え、環境に対する取り組みを推進しています。平成14年12月に京阪グループ環境理念を制定し、平成15年には環境に関する具体的な活動内容を示した環境方針を定め、京阪グループ全体で共有し、当社の事業活動から生じる環境への影響を低減すべく、活動を進めております。

この当社の事業活動の中でも鉄道電力を削減することが重要な取り組みです。電力を無駄なく利用する省エネルギー車両の導入を進めるとともに、平成24年4月から新造車両13000系が運行を開始しました。従来車両(2600系)との比較でも約35%の電力削減となります。

なお、鉄道電力以外の使用エネルギーについては、平成23年度は電力供給事情を考慮した節電対策を行ったこともあり、目標としていた原単位での対前年度比0.47%削減を上回る8.48%削減という大幅な削減を達成することができました。今年度も電力の需給見通しが厳しいため引き続き省エネルギー機器の導入を含め、社員が意識して節電に取り組むように努めてまいります。

環境に配慮し、持続的に発展できる社会の実現を目指す活動としては、昨年引き続き京阪バス株式会社と共同で「鉄道・バス乗り継ぎエコキャンペーン」を実施しました。環境負荷の小さい鉄道・バスのご利用を促進するとともに、積立金の一部を苗木等で京都市に寄付しました。また、京都市との共催で植樹イベントも実施し、植樹活動を通じて、京都の景観保全および京阪グループの環境保全に対する意識を高めました。今後も継続して環境に対する取り組みを進めていきたいと考えております。

環境管理責任者  
執行役員  
太刀川 克己



京都東山地域での植樹活動



植樹活動参加メンバー